

# なごのキャンパス(愛知県名古屋市)

旧那古野小学校施設活用事業

作成時点：2025年12月

廃校

複合施設

## 基本情報



写真出所：名古屋市

## 位置図

愛知県名古屋市西区那古野2丁目14-1



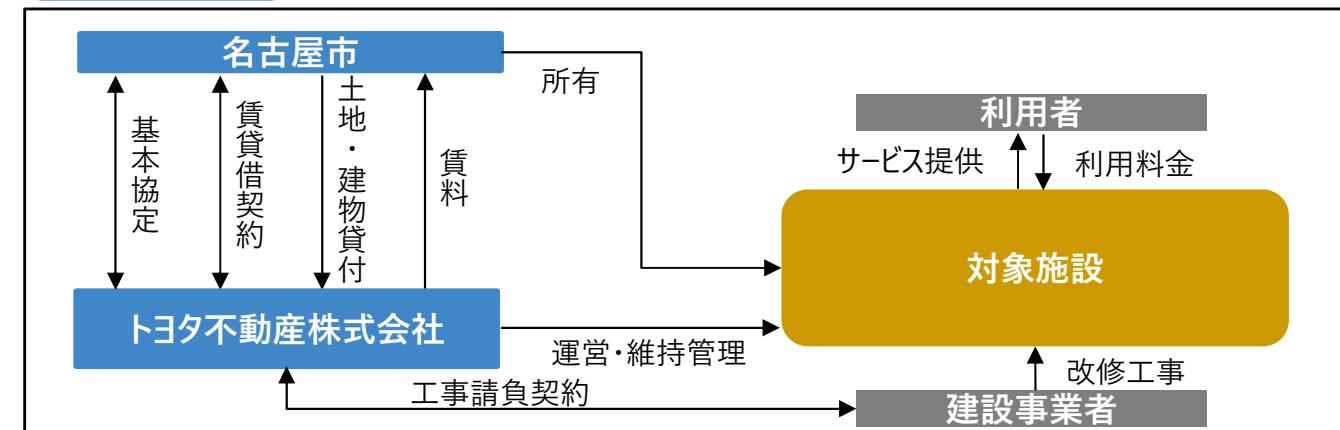
出所：地理院地図を引用

掲載内容  
に関する  
問合せ先

名古屋住宅都市局まちづくり企画課  
TEL：052-972-2739  
Email：a2739@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

事業主体	愛知県名古屋市（人口：2,340,026人 ※2025年12月現在）	
事業手法	賃貸借	
民間事業者の業務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>運営・維持管理業務</li></ul>	
事業期間	10年間（2019年4月～2029年3月） ※貸付契約期間は10年で、双方協議の上、5年間の更新が可能	
事業費等	<ul style="list-style-type: none"><li>施設改修費 全額事業者負担（非公表）</li><li>賃料 月額840,000円</li></ul>	
活用した補助金	特段なし	
事業者	トヨタ不動産株式会社	
事業経緯	<ul style="list-style-type: none"><li>2018年07月 公募開始</li><li>2018年12月 事業者候補者の選定</li><li>2018年12月 基本協定締結</li><li>2019年04月 賃貸借契約締結</li><li>2019年10月 開業</li></ul>	

## 事業スキーム図



# なごのキャンパス(愛知県名古屋市)

旧那古野小学校施設活用事業

作成時点：2025年12月

廃校

複合施設

## 検討経緯

- 2014年11月に地域団体から市長へ地域の防災拠点としての機能の維持等の視点で、2015年4月に閉校が予定された旧那古野小学校の跡地活用の要望書が提出された。
- 要望書を踏まえ、市は2016年に「有識者懇談会」や「地域意見交換会」を実施、2018年に①広域的な交流の促進、②産業・知的資産を活かした創造、③地域力の創造と発展という活用の方向性を示した「旧那古野小学校施設活用方針」をとりまとめた。
- 対象施設は学校として教育委員会の所管であったが、教育以外の用途で活用を行う方針で決定したことから施設の所管を教育委員会から住宅都市局に移した。
- その後、活用方針に基づいた施設利活用の公募を行い、6者の提案の中から①②③を満たすインキュベーション施設として活用する案を提出した事業者に決定した。

## 取組のポイント

- 有識者と行政で構成する「有識者懇談会」を全8回、地域住民との「地域意見交換会」を全4回と多数実施したことで、地域に求められる活用方針をとりまとめることができた。
- 活用方針に基づき、事業提案募集時に、体育館やグラウンドなどを学区の地域活動の場として利用できることを条件として募集要項に記載したこと、賃貸借契約を締結しつつも、施設・敷地を活用したイベント等による地域活動の場を提供することが可能になった。
- 民間事業者のノウハウを生かし、入居者の起業家同士や入居者と地域企業との交流イベントを設けることで、入居者同士のネットワークやビジネスマッチングの機会を創出し、施設の入居需要を高めた。

## 得られた効果

- 地域イベントや事業者によるイベントなど定期的なイベントを通して多くの地域住民の来訪があり、地域の賑わいを創出している。
- 180以上の法人会員加入を実現しており、その結果としてスタートアップ企業を含む会員同士が日常的に交流でき、新たな事業機会の創出に繋がる環境が整備された。

## ■ 利活用前



## ■ 利活用後



(校舎玄関→施設入口)



(職員室 + 放送室→コワーキングスペース)



(グラウンド→広場)



(給食室→カフェyoake)

写真出所：名古屋市